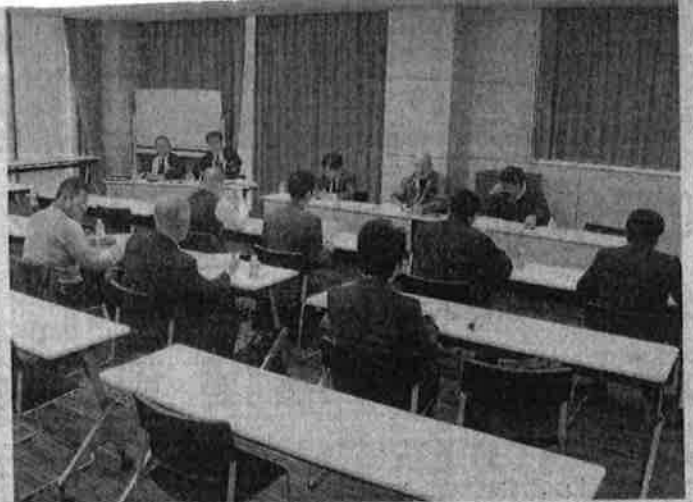


11/30
物流ニッポン



阪神港海コン協

夢洲の保安体制強化

シャシープール 防犯カメラを設置

【兵庫】阪神港海上コンテナ協会（山口与嗣雄会長）は17日、理事会を開き、管理・運営を行っている夢洲第1、第2の両シャシープール（大阪市此花区）に防犯

門柱に車両が接触し破損する事故がたびたび発生しており、対策が課題となっている

カメラを設置、保安体制の強化を図ることを決めた。両シャシープールでは、これまで門柱に車両が接触し破損する事故がたびたび発生しており、対策が課題になっていた。更に、深夜の港頭地区などで、改造した乗用車が暴走を繰り返したためと思われる損傷もみ

られることから、保安強化の一環として防犯カメラを設置する。門柱を保護する柵も同時に設ける。

一方、汚損した返却コンテナを巡って、ターミナルでの引き受け拒否や清掃の要請を受けるといった問題が発生し、ドライバーの労働環境悪化につながっていることも確認した。

大阪府トラック協会の海上コンテナ部会（山口部会長）、兵庫県トラック協会の海上コンテナ部会（佐賀里隆之部会長）と合同で実態調査をする

また、ターミナルにおける渋滞対策や、車両制限令違反に対する取り締まりの在り方について、国土交通省に陳情を行う予定であることが報告された。全ト協海上コンテナ部会（藤木幸二部会長）とともに、12月6日に奥田哲也自動車局長を訪ね、コンテナターミナルの車両滞留について、物流効率化や労働環境改善といった観点から、船社やターミナル会社への協力要請文の発出などを求める。

更に、車限令違反に対する取り締まり強化を受け、4月以降、海コントレーラが軸重違反を指摘されるケースが相次ぐことを憂慮。特殊車両通行許可制度の再検討も含め、海上人命安全条約（SOLAS条約）や現場の実態を踏まえた対策を要請する。

山口氏は「海コン輸送に対する施策は、今後どう在るべきかといった未来志向の話をしていきたい」と述べた。

（小巢史和）